

生活科学研究所 学習グループ活動記録 (1997年度)

地域社会の人々を対象とした学習グループ活動は1989年に発足し、今年度で第9期となった。前年度に引き続いて、泉グループ(参加人数19名)、蒲生グループ(参加人数6名)の二つのグループが、それぞれに活動している。時代の変化に対応し、そのニーズに応える生涯学習の場として、今後更に充実発展させていきたいと考えている。本年度の両グループの具体的な活動内容は、以下の通りである。

泉グループ活動報告

担当：泉 敬子(文教大学教育学部名誉教授)
補助：佐藤ひろみ・多田圭子
メンバー：19名
活動日：前期第3火曜日・後期第4月曜日
(除8月)

《活動内容》

- 4月～9月
 - I) これからの時代の“食に求められるもの”
 1. 高齢化社会における健康・栄養問題
 2. 少子化・核家族化による食生活の変化
 - II) 白書に見る健康・栄養問題
 1. 戦後50年“食の移り変わり”
 2. 環境にやさしい生活文化を
 - III) 飽食時代の食卓に欠けるもの
 1. 近年の食環境変化の特色
 2. 飽食の中のひずみ現象
 - IV) 人生100年の食計画
- 10・11月 “酒の歴史”
- 1月 “お節料理の変遷”
- 上記に加え、7月には生活科学研究所主催公開講座、12月には同研究発表会を聴講した。

蒲生グループ活動報告

担当：蒲生不二男(文教大学教育学部教授)
補助：清水美津子
メンバー：6名
活動日：第2・4木曜日
1997年4月～1998年1月 全15回

《活動内容》

学習グループであるホームマネージメント・スクールの発足は平成元年であり、本年度で丸9年となる。その中で、読書会形式での活動は4年となった。月2回、第2・第4木曜日の午後90分間、本の内容についてゼミ形式で発表し、全員でディスカッションし、それを蒲生教授がまとめるという形式をとっている。

- 4月～9月(昨年度より引き続き)
船井幸雄 著『「清富」の思想』
- 10月～
加藤諦三 著『自分を嫌うな』

今年度は上記2冊をとりあげて、精読、ディスカッションした。